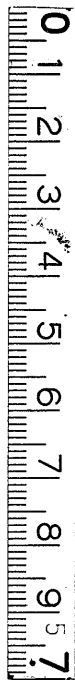


襲人僭偽考



タイトル番号 : 0036

書名 : 襲人僭偽考

1冊

百

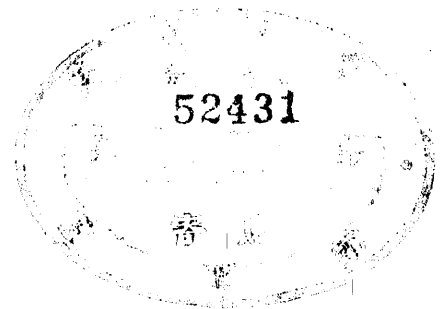
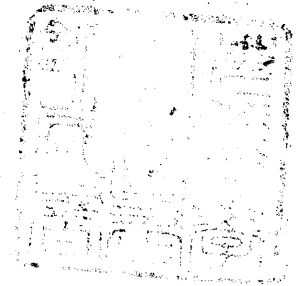
210.3

襲人僭偽考序

上世之事人遠言湮。國史難明得失之迹。攷古之士。乃能極博綜之力。發神會之悟。啓其微。顯其晦。使治亂得失之迹。如身中在。當時親覩之。春秋之末。吳夫差亡。其支庶與遺民。俱踰海。遁我西陲。子孫漸強大。西通三韓。私相應接。漢魏之間。遣使於彼。自稱吳太伯之後。受其封爵。遂僭偽位。改元稱制。拒朝命。梗王化。熊生虎。虎生狼。負隅潛谷。大縱毒螫。凡一千餘歲。始就殄戮。

管子藏

天津藏書



52431

彼邦之書。稱皇國始於吳太伯。傳聞之誤。實原乎此。昔有方外之徒。撰皇國編年。首載彼恠妄無稽之言。時朝議下令。逐其人。禁其書。近世坊間編年之書。亦妄取西。漢僭盜之紀元。列皇國歷世微跡之前。豈非薰蕕同器而藏之乎。此說余嘗聞之於鶴峯先生。先生又繼之著藪人怨偽考一卷。蓋先生之學。究天人幽明之理。明古今治亂之原。將以鋪張盛世焉。如斯編乃成於一時。抵掌談話之間。猶能明遠古幽昧。

之迹。使久如親覩其事焉。又可以知先生博古之學。無所不窺。研覈之精。無所不嘗也。

天保戊戌秋八月朔。在土綾瀨。龜田梓撰。



其關係ある所いとい大也。後進の君子存しんてよく

藝國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

大隅漢摩のいふ日向國に属す。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。  
大隅漢摩のいふ日向國に属す。  
日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。  
日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。  
日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

ある命。日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

日向國のいふ書紀神代卷下日向國を見え。業行卷上藝國にあり。此方て。智  
鈔は太陽國也。於此方て是也。

古事記傳下。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。

日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。

日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。日向國と書す。

公通船  
 相目二  
 軒周至  
 元年冬  
 十月越  
 大差前  
 大差也  
 夫差也  
 二千五  
 今日本  
 亦之也  
 大伯也  
 若也  
 具也  
 入海也  
 後也  
 文也  
 日本傳  
 敗也  
 來也

謂大伯之後也。ある倭人也云とのやして、其の遺骸北の山に有る。大伯の後や、之よりハ、吳の大伯みうせむ子無し。弟伊雍嗣て立つ。後十七世大差。越の勾踐子也。この時天朝孝昭天皇の三年、何れり。善陀山志。越王勾踐、欲使放吳王夫差居之。然不至也。や何と。思ふ。勾踐夫差と善陀に放せり。夫差善陀に至り、此國よまねる。か、まゝ爲朝義登る。の跡の如く、死せ偽り、逃れ、かても、みづゝ、ハ、実子死して、其支庶此逃來りて、母を、其の支庶入海爲海、通鑑も、史記吳大伯世家。越王勾踐欲遷吳王夫差於南東予言家居之。云。南東、南東、善陀、又神名式、大隅國、神社、是等、彼、吳人の、其祖と祀り、所、日本、紀、通鑑、其

風土記と引て、高麗國意昌山自天降來日杵やあるハ、今梅意昌山、宇豆峯共小  
 蔚山之轉也や云。是小振れば、の吳人、日杵が天より降り、蔚山、  
 て、此地小住し、す、筑紫九州此地ハ渡来せし故小、  
 宇豆峯神と祀り、其子孫も、多、都、  
 伊草や、昔ハ大伯の後、吳王の子孫、以、或ハ、  
 祖と縁、結、朝、今、奉、私、王、名、  
 乃、人、言、其、成、  
 真人ハ、大、命、大、阿、阿、  
 高、人、乃、薩、門、  
 人、白、人、今、

人白丁、真人、今、





夫朝已酉。幸筑紫。十月朔日向國。起行宮。以居之。是謂高屋宮。十二月癸巳。相下河。議討。遂襲之。十三年夏五月。志平襲國。因以居於高屋宮。已六月也。又  
 學。今按。己巳。六事也。とある。又。十一年。志平。襲國。因以居於高屋宮。已六月也。とある。此。皇。初。と。經。て。日向國。に。居。坐。せ。り。と。ある。一。方。あ。る。と。ある。は。さ。ら。し。む。る。は。あ。ら。う。く。俗。に。大。隅。國。正。八。幡。に。吳。比。大。伯。と。祀。する。に。や。い。つ。る。も。し。り。お。ま。は。り。あ。ら。う。く。八。幡。皇。童。訓。下。す。又。震。旦。國。隣。大。王。娘。大。比。留。女。七。歲。時。朝。日。光。晒。間。ニ。サ。シ。入。テ。御。懷。妊。ア。リ。テ。皇。子。ヲ。ウ。ケ。給。王。臣。恠。テ。空。船。ニ。セ。奉。テ。流。シ。着。シ。ト。コ。ロ。ヲ。所。領。ト。シ。給。ヘ。ト。テ。奉。還。大。海。日。本。鎮。西。大。磯。岸。ニ。寄。付。給。ケ。リ。其。太。子。ヲ。奉。還。八。幡。ヨ。リ。御。船。着。レ。所。ヲ。八。幡。崎。ト。名。ケ。タ。リ。是。ハ。繼。躰。天。皇。ノ。御。宇。ナ。リ。キ。大。比。留。女。ハ。筑。前。國。若。樞。山。ヘ。飛。入。給。テ。後。香。檉。聖。母。大。喜。薩。ト。號。玉。フ。皇。子。ハ。大。隅。

國ニ留テ。正八幡ト被祝給リ。爰大隅本任人名軍人。或。敵。ハ。奉。還。却。八。幡。張。陣。雖。合。身。軍。人。打。負。テ。頸。ヲ。被。切。故。ニ。忌。縁。ト。ナ。リ。依。致。其。難。御。甚。シ。前。ニ。三。夏。斷。兵。奉。還。軍。人。打。取。給。御。銜。ヲ。号。ス。名。軍。人。風。銜。長。八。尺。廣。六。寸。也。仲。哀。天。皇。ノ。御。子。ト。シ。テ。皇。后。御。服。ニ。異。賊。ヲ。セ。シ。大。比。留。女。御。子。ト。シ。テ。却。推。御。年。討。軍。人。ヲ。云。フ。ヤ。シ。ノ。事。之。え。たり。今。考。ふ。是。ハ。吳。の。支。庶。の。始。て。大。隅。國。ニ。あ。り。し。時。大。隅。軍。人。ノ。一。部。ハ。武。皇。ノ。ひ。り。に。送。ら。れ。り。て。從。ひ。之。る。と。思。ふ。應。神。天。皇。の。神。德。ニ。混。テ。謠。傳。へ。り。と。ある。は。さ。ら。し。む。る。は。又。正。風。且。國。隣。大。王。ノ。娘。數。人。の。之。吳。人。ノ。一。部。風。と。主。ト。て。め。り。る。故。之。と。云。ふ。は。の。大。王。と。宇。佐。說。の。陳。大。王。ノ。作。る。陳。ノ。數。人。の。世。に。此。ノ。事。ヲ。最。も。危。ら。し。し。所。謂。珍。玉。と。云。ふ。事。也。此。ノ。事。ヲ。打。取。と。し。珍。玉。國。ト。傳。





